

国際コンファランスを開催

▼日本銀行金融研究所では、五月二十八日・二十九日の二日間にわたり、本店において「二〇〇八年国際コンファランス」を開催しました。国際コンファランスは、国内外の学界や海外中央銀行・国際機関との交流強化を狙いとして、わが国や世界経済がその時々直面している問題を取り上げ、その実態や背景を政策運営のあり方に関連付けて議論するもので、近年では毎年開催されています。



白川総裁のオープニングスピーチ

今回の国際コンファランスは、「金融政策理論の最先端 (Frontiers in Monetary Theory and Policy)」をテーマに、白川総裁のオープニング・スピーチで開幕しました。金融研究所海外顧問のマッカラム教授 (カーネギー・メロン大) による導入報告などを経て、今回は、ジョン・テラー教授 (スタンフォード大学) による招待講演 (金融研究所発足 (一九八二年) 当時の総裁にちなみ「前川レクチャー」

と名付けられました) が初めて行われるなど、二日間にわたって実りの多い議論が交わされました。

各セッションにおいては、①不完全な金融市場の下で、金融政策は金利間スプレッドの変化にどう反応すべきか、②一九七〇年代後半以降の中国の経済成長が先進諸国に与えた影響に関する成長モデルによる整理、③失業等を明示的に取り組んだDSGE (動学的一般均衡) モデルによる労働市場の研究、④ラーニングと呼ばれる過去の経験則から予測を行う状況下での金融政策の予測 (期待) コントロール、⑤将来の生産性に関する予測とバブル発生のメカニズム、⑥財政政策の視点からみた一九七〇年代の米国のインフレ、などのトピックについて、中央銀



会議の様様

行エコノミストや政策担当者の実務的な観点も織り交ぜながら、活発に議論が行われました。

議論の最後には、金融研究所海外顧問、海外の学者らによる研究分野の展望についての報告と参加者からの質疑に対する応答に主眼を置いたパネル・ディスカッションが行われ、二日間の日程が無事終了しました。コンファランスの概要については、金融研究所の機関誌等で公表する予定です。詳しくは日本銀行金融研究所HPをご覧ください。

<http://www.imes.boj.or.jp/japanese/kinyu/kinyu08.html>



日本銀行の新しい広報ビデオ「日本銀行の役割」をリリース

▼このたび、日本銀行では、日本銀行の役割や業務を紹介する広報ビデオ「日本銀行の役割」(約三分) を作成しました。



この広報ビデオは、高校生以上の方を対象に、お金の価値を守ることの大切さ、そのために日本銀行がどのような役割を果たし、どのような仕事を行っているかなどについて解説したビデオです。

案内役の星野真里さんが投げかける日本銀行に関するさまざまな質問について、ドラマ映像やコンピュータグラフィックスを用いて分かりやすく答えるストーリーとなっています。

構成は、以下のとおりです。

●お札の発行・流通・管理

お札が製造・発行され、世の中を流通し、再び日本銀行に戻ってくるまでの「お札の一生」を解説し、お札の偽造防止の工夫や日本銀行で偽札などをチェックする業務などについて紹介しています。

●インフレ・デフレ、物価の安定

お金の価値の変動 すなわち「物価」の変動がもたらす「インフレーション（インフレ）」や「デフレーション（デフレ）」が世の中に与える影響を解説し、物価を安定させるために日本銀行が行っている施策を紹介しています。



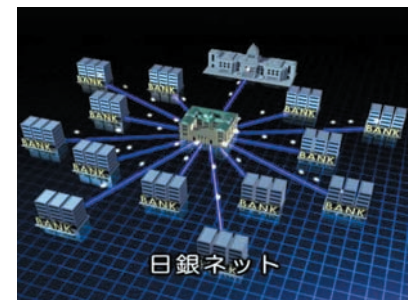
●金融システムの安定

金融機関同士のお金のやり取りを円

滑にするためのシステム（日銀ネット）や、金融機関の経営状態をチェックする業務を紹介しています。

●総裁メッセージ

日本銀行総裁 白川方明から皆さんへのメッセージです。



▼「日本銀行の役割」は、日本銀行のHP上で全編視聴できますほか、DVDやビデオテープの貸出も行っております。貸出をご希望の方はお電話でお申し込みください。また、このほかに、中学生向けの教育用広報ビデオ「知るほどなるほどー日本銀行」(約一九分)などもございますので、ご利用いただければ幸いです。

DVDまたはビデオテープの貸出についてのお問い合わせ先 日本銀行情報サービス局

☎〇三―三二七九―一一一
(内線 四六四〇、四七二五)

「市民講座」等開催のご案内

▼日本銀行本店では、十一月二日(日)に、「市民講座」を開催いたします。また、下記の期間中には、お金などをテーマにした企画展と日本銀行本店の見学ツアーを開催いたします。

「市民講座」では、わが国のお金の歴史や、国の重要文化財に指定されている日本銀行本店本館の建物などをテーマに、本行関係者が詳しくご説明させていただきます。

また、下記の期間中は、日本銀行本店の見学ツアーを開催し、一〇〇年以上使用された旧地下金庫をはじめ、建物内部をご覧いただき、その歴史や日本銀行の業務内容についてご説明いたします。見学ツアーは、通常平日のみ開催しておりますが、今回は特別に十一月二日(日)にも行います。ぜひこの機会に、辰野金吾博士の代表作とされる本館の外観だけでなく、意匠を凝らした旧営業場や、歴史を刻んだ歴代総裁の肖像画など、ご鑑賞いただければと存じます。

同時に、期間中は、本館の一部を開放し、お金などをテーマにした企画展を開催いたします。重さを体験できる一億円(模擬券)のパックや小判のレプリカなどをご用意する予定です。お金にまつわるあれこれを知っていた

く展示物をそろえておりますので、見学ツアーとともに、企画展にもぜひ足をお運びください。

日本銀行では、多くの方々にご来場いただき、日本銀行についてご理解をいただくとともに、地元日本橋地区の一段の活性化にも貢献できればと考えております。参加は無料です。振るってご参加ください。

公開時間内であれば、企画展は自由にご来場いただけますが、見学ツアーと市民講座は、事前予約が必要となります。申し込み方法など詳細は日本銀行HPをご覧ください。

<http://www.boj.or.jp/>

【開催期間】

十一月二日(日)
四日(火)
五日(水)
六日(木)
七日(金)

*市民講座は二日(日)のみ開催

【公開時間】

九時四十五分〜十七時(予定)

【会場】

日本銀行本店
(東京都中央区日本橋本町)

お問い合わせ先

日本銀行情報サービス局総務企画担当
☎〇三―三二七九―二四〇五

編集後記

■これまで未知の領域であった脳のことが解明されてきています。「脳トレブーム」の火付け役とも言われている池谷准教授のお話は、「目からウロコ」とも言うべき内容が満載で、インタビューは、テンポ良く、次から次へとさまざまなエピソードを紹介してくれる大変刺激的なもので、誌面の関係上全てをご紹介できないことが残念なほどです。倫理的問題もある領域ですが、先端的な研究でご活躍するとともに、これを、一般の人たちに分かりやすく伝える、いわゆる「アウトリーチ活動」での積極的な貢献も期待しています。

なお、今回巻頭エッセイを、映画やテレビの撮影でお忙しい中、俳優の山崎努さんにお引き受けいただきました。さすがに、「演技派」に相応しい、渋くかつピリッとした原稿を書いていただきました。(恵谷)

■岩手県内陸北部の葛巻町を訪ねました。涼やかな風の吹く広大な高原を驚くほどのスピードで駆ける元気な牛たち。ミルクの美味しさに納得します。滋養たっぷりの山ブドウはその小さな実を搾り、昔から産前産後や病の際に愛飲されてきたそうです。「なにもない」と思われていた町は、視線を変えれば自然の恵みにあふれる町。故郷を愛する人たちが見出した宝を次の世代のために辛抱強く大切に育て上げてきたからこそ、大きく実を結んだのだと思います。自分たちの町を守ろうと必死の思いで走り続けてきた葛巻町は、気付けば、山村にある優れた資源を最大限に利用して、本当の豊かさを示すトップランナーになっていたのです。(AU)

※本誌は、全国の日本銀行本支店および貨幣博物館、旧小樽支店金融資料館等でお配りしています。個人の方の定期購読、郵送はお取り扱いしておりませんのでご了承ください。なお、既刊号全文をPDFファイル形式で日本銀行ホームページ上に掲載していますのでご利用ください。

(<http://www.boj.or.jp/type/pub/nichigin.htm>)

※本誌に掲載している内容は、必ずしも日本銀行の見解を反映しているものではありません。日本銀行の政策・業務運営に関する公式見解については、日本銀行ホームページ(<http://www.boj.or.jp/>)をご覧ください。

にちぎん 2008年 秋号
編集・発行人 恵谷英雄
発行 日本銀行情報サービス局
〒103-8660
東京都中央区日本橋本石町2-1-1
☎03-3277-2405

デザイン 株式会社市川事務所
印刷 株式会社廣済堂
©日本銀行情報サービス局 禁無断転載

*本誌の用紙は、環境・社会・経済のすべての側面に配慮した厳しい基準に従って適切に管理された森林からの木材を原料としていることを示す、FSC認証紙を使用しています。

「金融教育フェスティバル」開催のご案内 (金融広報中央委員会)

▼金融広報中央委員会(事務局 日本銀行情報サービス局内)では、十一月二十二日、二十三日の二日間、秋葉原UDXビルにおきまして「金融教育フェスティバル」を開催いたします。同フェスティバルは、お子様から大人の方まで、幅広い年齢の方に、金融教育に関して興味を持ち、理解を深めていただくために、「おかね」に関する体験的な学習要素を盛り込んだイベントです。一連のプログラムを通して、金融に関して興味を持ち、理解を深めていただけるよう、楽しく学べるプログラムを企画いたしました。

今回は、お子様向けの体験型プログラム



中央銀行の仕事を体験(以下、写真は昨年度の模様)

ラムを中心に、一般社会人の方向けの金融教育に関連するセミナーや資料提供コーナーなども用意しております。参加は無料ですが、一部事前申し込み制のプログラムがございますので、詳しくは後述のHPをご覧ください。皆さまのご来場をお待ちしております。

【開催日時】
十二月二十二日(土) 十時～十八時
十二月二十三日(日) 十時～十七時
(時間は予定)

【会場】
秋葉原UDXビル(千代田区外神田)



今年度もセミナー内容は充実しています

【イベントの詳細】
事前申し込み制プログラムの申し込み方法、お問い合わせ先など、詳細については金融広報中央委員会HP(「知るぽると」)をご覧ください。
<http://www.shinporuto.jp/>



知るぽると広報委員長を務める女優の比嘉愛未さんとのトークセッション